

事業所名: 社会福祉法人ももぞの学園 就労センターもも

■障害種別の割合をお答えください。 ※精神がい害に発達障がいも含まれます。

知的障がい	約 63 %	精神障がい	約 27 %	身体障がい	約 10 %
-------	--------	-------	--------	-------	--------

■年代別の割合をお答えください。

10代	約 9 %	20代	約 54 %	30代	約 0 %
40代	約 9 %	50代	約 19 %	60代以上	約 9 %

■男女比をお答えください。

男性	約 64 %	女性	約 36 %
----	--------	----	--------

■利用者の就業時間帯をお答えください。

1～4時間	約 0 %	4～6時間	約 100 %	6～8時間	約 0 %
-------	-------	-------	---------	-------	-------

■社会保険に加入していますか？

加入していません。

■有給休暇等が取得できるようになっていますか？

取得できます。

■支援スタッフのうち、専門職(社会福祉士、精神保健福祉士等)の配置がありますか？

配置しています。

専門職: 社会福祉士

■利用者が行う作業の内容は？

清掃、リネン、駄菓子屋経営、草刈り、剪定、農作業等

■作業内容で最も高い報酬単価の高い作業は何ですか？

清掃作業

■施設外就労は行っていますか？

行っていません。

■支援をする中で対応に苦慮することがありますか？

あります。

「ある」と答えた方の内容:

働き方の多様化により、障がいの範囲も様々。精神・発達の方々への接し方や関わり方、集団性・個性、それぞれの適応・適性を見極めていくことに苦慮します。

■経営をする上で対応に苦慮することはありますか？

あります。

「ある」と答えた方の内容:

仕事を受ける上で、障がい者がやるからというお情けでは仕事はもらえない。しっかりと社会通念上の適正価格で勝負できるよう、事業の質も上げていかなくてはならない。

■倉敷市等においてA型事業所が閉鎖され、多くの利用者が解雇される報道がありました。このことについて、どのように感じられますか？

今回の件は、コンサル会社のHP上には「助成金を利用してもうかる」という文言が載っていた。これは本来のA型ではないにもかかわらず、許可してしまう倉敷市に大いに問題があると感じています。事業所の処分も当然ですが、倉敷市も何か処分を受けないとフェアでは無いと思います。

■貴事業所が大事にしていること、事業所のセールスポイントをお答え下さい。

当事業所では、障がい者がするという事は全く気にせず、皆同僚であるという意識のもとチームワークを大切にしています。また、仕事だけではなく、プライベートな生活支援(通院付き添いや休日出、相談対応など)にも力を入れており、「人生を変える」という意思で運営しています。